

第3学年 社会科学習指導案

- 1 単元名 「はたらく人とわたしたちの暮らし-わたしたちのAAマーケットについて考えよう-」
(日本文教出版3・4年上)

2 単元について

- 本単元は、学習指導要領第3・4学年の内容(2)を受け、地域の人々の生産や販売について、「ア 地域には生産や販売に関する仕事があり、それらは自分たちの生活を支えていること。」や「イ 地域の人々の生産や販売に見られる仕事の特色及び国内の他地域などのかかわり」を見学したり調査したりして調べ、それらの仕事に携わっている人々の工夫を考えるようにすることをねらいとしている。特に、本小単元では、販売に関する仕事に焦点を当て、自分たちの消費生活に興味・関心をもたせ、地域の人々の多くが買い物をするスーパーマーケットを中心に調べることを通して、販売者は消費者の信頼を損なうことなく売上げを高めるために工夫し、努力していること、消費者は品質や価格を考えながら商品を選択し購入していることについて、両者の工夫を関連付けながら理解させることをねらう。また、この中で他地域との関わりや地域の販売活動の課題と関連付けて考えさせることで、地域社会の一員であるという意識やよりよい地域社会をつくるために協力しようとする意識を育てることができると考える。

- 本学級の児童は、学校の周りの様子から自分たちの住む町の様子へと範囲を広げながら見学、調査したり、白地図にまとめたりする活動を通して、町の特徴ある地形や土地の利用の様子について理解してきている。その際、町内には商店街や小規模なスーパーマーケットはあるが大きなスーパーマーケットがないことに気付いている。また、事前の実態調査では、多くの児童の家庭が近隣の市町の大きなスーパーマーケットなどで買い物をしており、場所が広範囲でディスカウントストアやショッピングモールなど様々である。このことから、町内の店と自分たちの生活との関係が薄いことが考えられる。

6月に行った学習状況調査を基にした実態調査では、必要な情報を地図から読み取ったり、複数の情報を関連付けて考えたりすることに課題が見られた。このことから、地図を活用した学習活動を取り入れ、読み取った情報を基に自分の考えをもたせたり、複数の情報を関連付けてまとめさせたりする問いを設定し、指導してきている。また、意識して話し合い活動も取り入れてきたことから、児童一人一人が、自分なりの考えをもち、発表する回数は増えてきた。9月に行った意識調査では、「資料をみて調べること」について、約66%（18名）が肯定的な回答をしていた。児童は、資料から情報を読み取ることに楽しさを感じてきているようだが、読み取ったことを根拠にして友達の考えと比較したり、自分の考えを見直したりすることができるまでには至っていない。

- 指導に当たっては、まず、「学習問題をつかむ」過程において、課外に実施した買い物調べの結果を基に、児童の家庭が買い物をする店について白地図にまとめることで、多くの家庭がスーパーマーケットで買い物をしていることや児童の生活圏が町外との関わりがあることに気付かせる。その上で、どうしてスーパーマーケットに行く家庭が多いのかという問いかけから、買い物調べや生活経験を基に予想させ、予想や気付きの根拠を問い、児童が調べたいことや知りたいことをまとめ、学習問題Ⅰ「スーパーマーケットに人が集まるひみつについてさぐる」を設定する。これにより、販売者の工夫についての児童の問題意識を醸成し、それらを基に学習計画を立てる。

次に、「調べる」過程では、児童の問題意識を基に、スーパーマーケットについて見学や調査を行わせる。これらの活動を通して、学習問題Ⅰに対する予想や気付きを確かめさせたり、調べる過程で生じた新たな疑問を解決させたりする中で、販売者の努力や工夫について考えさせる。その際、児童の予想を基にした観点（価格や商品、サービスなど）で調べさせることで、販売者と消費者のそれぞれの思いが関係していることに気付かせ、スーパーマーケットのよさとして学習問題Ⅰをま

とめさせたい。

さらに、「考え・まとめる」過程では、なぜ、多くの児童の家庭は町で買い物をしないのかを問いかけることで、町で買い物をする人が少ないことや買う場所が限られていることなどに気付かせ、どのような人が町で買い物をしているのか、町にある「AAマーケット」はスーパーマーケットではないのかなどの児童の疑問を引き出す。それらの疑問を基に、町の現状について調べる活動を取り入れる。その中で、インタビューやG Tの話から町の高齢者や商店街の人の思いに触れさせ、児童の感想や気付きを基に「AAマーケット」の課題に焦点化し、学習問題Ⅱ「わたしたちのAAマーケットについて考えよう」を新たに生じた学習問題として設定する。学習問題Ⅱの追究活動として、どうすればAAマーケットがもっと盛り上がるのかを友達との話し合いを通して考えさせ、町役場への提案文を作らせる。このように一貫した学習過程の中で、児童に販売者の工夫と消費者の工夫について、両者を関連付けながら理解させたい。また、学んだことを活用して、社会に関わらせることを通して、それぞれの立場の思いや願いにたった考え方について学ばせることで、地域社会の一員であるという意識やよりよい地域社会をつくるために協力しようとする意識を育てたい。

- 本研究における授業改善の視点(学習状況調査等の結果に見える課題とその解決に向けた手立て)
 本単元では、資料の読み取りが重要になる。その際に、資料から事実を読み取らせるだけでなく、読み取ったことを基に児童一人一人に考えさせたり、考えを交流させたりする活動を取り入れ、児童が資料から読み取ったことを活用させる場を設ける。これにより、販売者や消費者といったそれぞれの立場の工夫や努力を考えさせることで、多面的な見方や考え方に気付かせたい。また、資料から読み取ったことや考えたことを自分の言葉で語らせることで知識の定着を図るようにしたい。

3 単元の目標

- 地域の販売の仕事について、スーパーマーケットで働く人々の様子を見学したり、聞き取り調査をしたりして調べ、地域の販売に関する仕事が自分たちの生活を支えていることや販売されている商品を通して他地域と関わっていることが分かり、販売の仕事をする人が消費者の願いに応じた工夫や努力をしていることを考えるようにする。
- 地域の販売の仕事について、理解したことを活用し、これからの町の販売の仕事について考えることを通して、地域社会の一員としての自覚をもつようにする。

4 評価規準

社会的事象への 関心・意欲・態度【関】	社会的な 思考・判断・表現【思】	観察・資料活用の 技能【技】	社会的事象についての 知識・理解【知】
<ul style="list-style-type: none"> ・地域の人々の販売の仕事の様子に関心を持ち、意欲的に調べている。 ・地域の人々の販売の仕事と自分たちの生活との関わりを考えようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の人々の販売の仕事の様子について、学習問題や予想、学習計画を考え、表現している。 ・地域の人々の販売の仕事の工夫を自分たちの生活と関連付けて考え、適切に表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・観点に基づいて見学したり資料を活用したりして、地域の人々の販売の仕事の様子や消費者の思いについて必要な情報を集め、読み取っている。 ・調べたことを白地図やワークシートなどにまとめている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域には販売に関する仕事があり、それらは自分たちの生活を支えていることを理解している。 ・地域の人々の販売に見られる仕事の特色や国内の他地域などとの関わりを理解している。

5 単元計画（全14時間 本時1/14）

過程	主な学習活動（○）	教師の働き掛け（○）	評価（・）評価の観点【】	時配
学習問題をつかむ	○家庭での買い物調べを行う。 （7日分の記録をとる）	○買い物をした店や商品の種類，理由を記録させる。 ○保護者に協力を依頼する。		課外
	○買い物調べの結果を白地図にまとめ，結果に対する気付きや疑問を出し合う。 ○なぜ，スーパーマーケットに人が集まるのかを予想し，学習問題Ⅰをつくる。	○町外のスーパーマーケットでの買い物が多いに気付かせるために，町の白地図にまとめさせる。 ○なぜ，スーパーマーケットに人が集まるのかを予想させ，根拠を問い返しながら，児童に問題意識をもたせる。	・地域の人々の販売の仕事の様子について，学習問題や予想を考え，表現している。【思】	1 （本時）
	スーパーマーケットに人が集まるひみつについてさぐる。（学習問題Ⅰ）			
調べる	○学習問題Ⅰに対する予想を視点ごとにまとめ，学習計画を立てる。 〈予想される調べる視点〉 人・施設・商品・サービスなど	○児童が予想した内容を基に，共通点や相違点を考えさせ，共通点を基に観点をづくり，見学，調査活動の調べる視点として示す。	・地域の人々の販売の仕事の様子について，学習計画を考え，表現している。【思】	1
	○調べる視点ごとにグループを作り，見学の計画を立てる。 ○見学の注意点を知り，インタビューなどの練習をする。	○児童が見学の見通しをもつことができるように，学級全体で見学の目的や調べる内容を確認し，グループの活動へ移行する。	・地域の人々の販売の仕事の様子に関心をもち，意欲的に調べている。【関】	1
	○調べる視点を基に，スーパーマーケットを見学し，仕事の様子を調べる。	○見学は全体で行わせ，質問の時間にグループごとにまとめてきた質問をさせる。	・地域の人々の販売の仕事の様子に関心をもち，意欲的に調べている。【関】 ・観点に基づいて見学し，地域の人々の販売の仕事の様子や工夫について，必要な情報を集め，読み取っている。【技】	2
	○見学して分かったことを調べる視点に沿ってまとめる。	○販売者の工夫に気付きやすいうように，調べる視点を基に「○○の工夫」というタイトルで調べたことを表にまとめさせる。	・見学して集めた情報を販売者の工夫としてワークシートにまとめている。【技】 ・地域の人々の販売に見られる仕事の特色や国内の他地域などとの関わりを理解している。【知】	1

調べる	○スーパーマーケットのよさについて考え、学習問題Ⅰについてまとめる。	○スーパーマーケットのよさについてまとめる中で、買い物調べの結果に立ち戻らせ、販売者の工夫と消費者の工夫を関連付けて考えさせ学習問題Ⅰをまとめる。 ○買い物調べの結果や地図を基に町の店はなぜあるのかを考えさせることで次時のG Tの話につなげる。	・地域の人々の販売の仕事の工夫を自分たちの生活と関連付けて考え、適切に表現している。【思】 ・地域には販売に関する仕事があり、それらは自分たちの生活を支えていることを理解している。【知】	1
	○G Tの話を読み、町の現状について知る。 ○困っていることについて、話しの中に出てきたAAマーケットを例にして考え、学習問題Ⅱをつくる。	○G Tからの話から町には、スーパーマーケットがないことによって困っている人がいることに気付かせる。 ○町の地図を基に、AAマーケットに焦点を当て、スーパーマーケットとの違いを予想する中で、疑問や気付きを出させ、新たな学習問題（学習問題Ⅱ）を設定する。	・地域の人々の販売の仕事と自分たちの生活との関わりを考えようとしている。【関】 ・地域の人々の販売の仕事の様子について、学習問題や予想を考え、表現している。【思】	1
考え・まとめる	わたしたちのAAマーケットについて考えよう。（学習問題Ⅱ）			
	○AAマーケットに行き、店舗を見学したり買い物客や店の人の話を聞いたりする。	○学習問題Ⅰを追究した際の調べる視点を基に、スーパーマーケットと比較させることで、どうすれば人が集まるのかを考えさせるようにする。	・観点に基づいて見学したり資料を活用したりして、地域の人々の販売の仕事の様子や消費者の思いについて必要な情報を集め、読み取っている。【技】	2
	○AAマーケットの調査で分かったことをまとめ、AAマーケットを盛り上げるために考えなければならない視点や立場について考える。	○学習したスーパーマーケットのよさを基に、AAマーケットに足りないものを予想させることで、考えなければならない視点や立場を明確にする。	・地域の人々の販売の仕事の工夫を町の人たちの生活と関連付け、AAマーケットを盛り上げるために考えなければならない視点や立場を考え、適切に表現している。【思】	1

考え・まとめる	○AAマーケットを盛り上げるためにどのような取組をすれば良いかを個人で考える。 ○似ている考えでグループをつくり、取組の効果について話し合うことで、自分の考えを明確にする。	○AAマーケットを盛り上げるために考えなければならぬ視点や立場を基に、自分なりの考えを書かせ、学級全体で集約することで、違う考えがあることに気付かせ、話し合いへの意欲付けを行う。	・地域の人々の販売の仕事の工夫を自分たちの生活と関連付けてAAマーケットを盛り上げる取組について自分なりに考え、適切に表現している。 【思】	1
	○AAマーケットについて考えた取組についてグループや学級全体で話し合い、よりよい取組について考える。	○グループや全体での話し合いを通して、取組の価値を吟味させ、自分の提案文に盛り込む内容を決めさせる。	・AAマーケットを盛り上げる取組について考えを見直し、適切に表現している。 【思】	1
	○自分の提案に対する町役場からの感想を基に、これまでの学習を振り返る。	○実際の社会とのつながりやこれまでの学習の成果を実感させるために、提案文を町役場に提出し、感想をもらう。	・地域の人々の販売の仕事と自分たちの生活との関わりについて課題意識をもち、考え続けようとしている。 【関】	1

6 本時の目標

買い物調べの結果を基にして、スーパーマーケットに人が集まる工夫について、予想することができ、学習問題を考えるようにする。 【社会的な思考・判断・表現】

7 展開(全1時間 本時1/14)

学 習 活 動	教師の働き掛け(○)と評価【】
1 これまでの学習を想起する。 〈学級全体〉	○町や近隣の市町の店を記した地図を出し、買い物調べについて、確認することで、今後の学習に向けて意欲をもたせる。
2 店の種別分けを行う。 〈学級全体〉	○買い物をした店を数人の児童に発表させ、児童の生活経験を想起させながら、スーパーマーケット、コンビニエンスストア、専門店の3つに種別分けする。その際、青色・赤色・黄色で分かりやすいように色分けする。 ○児童に、種別を予想させながら色分けしたり、そう思った理由を問い返したりすることで児童の学習意欲を喚起する。
本時のめあて 買い物調べの結果をまとめて、大きなめあて(学習問題)をつくろう。	
3 予想を立て、買い物調べの結果を地図にまとめる。 〈グループ・学級全体〉 ①最も利用されている店の種別を予想する	○3つの店の種別の中で、どこが最も利用されているのかを予想させ、予想した理由を尋ねたり、根拠を問い返したりしながら児童の思考を揺さぶる。 ○思うようにワークシートで色分けをすることができない児童には、その店がどんなものを売っているのかを聞

<p style="text-align: center;">↓</p> <p>②個人で買い物調べの結果を3つの店の種別に色分けする。</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>③班ごとに結果を黒板の地図に貼る。</p> <p>4 学級全体の結果となった地図を見て、気付きや予想を出し合う。〈学級全体〉</p> <p>5 学習問題Ⅰをつくる。〈学級全体〉</p>	<p>いたり、その児童の買い物調べを使って一緒に考えたりして支援する。また、困っている友達がいたら班で助け合うように声を掛ける。</p> <p>○あらかじめ児童のワークシートに調べてきた店の数だけシールを貼っておくことで、作業時間を短縮する。</p> <p>○3つの店の種別のうち、どこが最も利用されているかを調べるという学習活動3の目的に立ち戻らせ、結果の地図から分かることを問いかけることで、スーパーマーケットに人が集まっていることに気付かせる。</p> <p>○どうしてスーパーマーケットに人が集まっていると思うかを問いかけ、理由を考えさせることで、買い物調べや自分の生活経験を基に予想させる。【評価】</p> <p>○同じ物を買いたい場合、何を大切に店を選ぶのかを問いかけることで、児童の「なぜ」「どうして」という発言やつぶやきを表出させたり、調べる視点を明らかにしたりしていく。</p> <p>○児童の発言やつぶやきの言葉を使いながら、学習問題Ⅰ（大きなめあて）をつくることで、児童の問題意識が次時につながるようにする。</p>
<p>学習問題Ⅰ スーパーマーケットに人が集まるひみつについて調べよう。</p>	
<p>6 次時の活動の見通しをもつ。〈学級全体〉</p>	<p>○今後の学習活動の見通しをもたせるために、児童の予想を基に話すことで、学習計画を立てるようにする。</p>

8 本時の評価

評価規準	地域の人々の販売の仕事の様子について、学習問題や予想を考え、表現している。 【社会的な思考・判断・表現】		
判断する目安 (判定基準)	十分満足できる状況(A)	おおむね満足できる状況(B)	努力を要する状況(C)
	スーパーマーケットに人が集まる理由について、買い物調べの結果や自分の生活経験を基に予想したことを記述している。	スーパーマーケットに人が集まる理由について、買い物調べの結果を基に予想したことを記述している。	(B)に達していない記述
→(B), (C)と判断した児童への支援		→自分がスーパーマーケットに行ったときのことを付け加えられないかを問いかける。	→個人の買い物調べの結果から、品物の共通点などを考えさせることで予想をもてるようにする。
評価方法	ワークシートの記述・発言		

9 本時の板書計画

学習のめあて
 買い物調べの結果をまとめて、大きなめあて（学習問題）をつくろう。

店のしゅるい

- ・スーパーマーケット
- ・コンビニエンスストア
- ・せんもん店

まとめて気づいたこと

- ・スーパーマーケットに行くことが多い
- ・スーパーマーケットに何回も行っている

学習問題
 スーパーマーケットに人が集まるひみつについて調べよう。

学習問題の予想

- ・食料品が多いから？→見学に行く
- ・行きやすいから？→お客の声を聞く
- ・
- ・